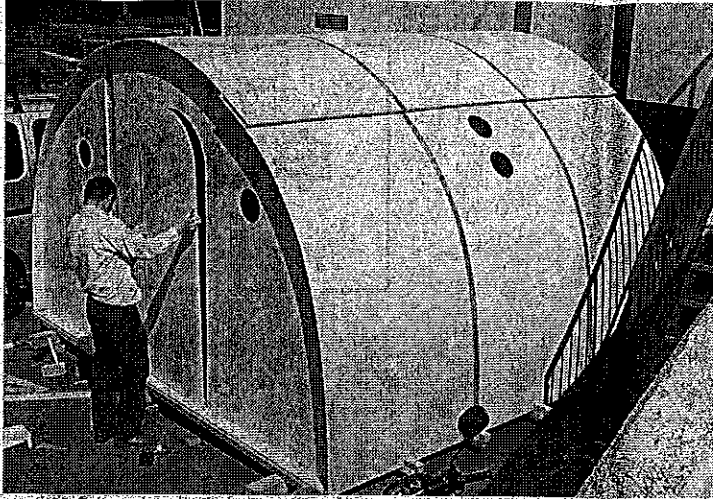


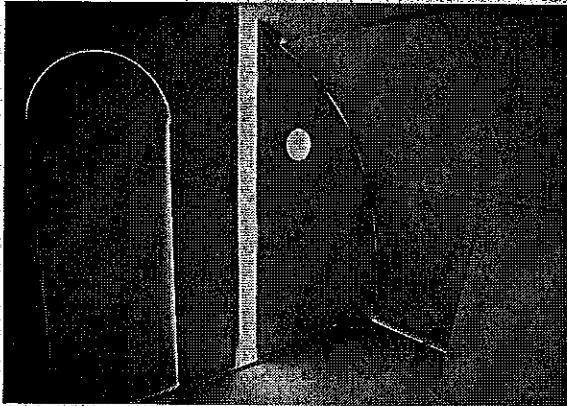
# 「復興ドーム」生産開始

## 被災地向け居住者がDIY施工

ロシア材専門商社のテツヤ・ジャパン（兵庫県神戸市、木村哲哉社長）は8日、東日本大地震の被災者向け仮設シェルター「復興ドーム」の生産を開始した。居住者自身で簡単に施工できることが大きな特徴。耐水加工が不要で強度のある「ロシア白樺耐水合板」を使用した木質のキット・テントを大量供給し、被災地で需要が高まっている「リラックスできるプライベートな空間の構築」に対応する。



木質の仮設シェルター「復興ドーム」



乳白色のロシア白樺耐水合板が「癒し」を醸し出す

「復興ドーム」プロジェクトには設計事務所  
所のほか、商社も施工

会社、システム材（カカ）は90mmの土

開発会社、マイケイキング・コ

ンサルランド、広告代理店など

11社の異業種企業が参画した。その多くは関西の企業で、1

995年の阪神大震災において緊急復旧支援を経験。今回、そのノウハウを生かし、被災者の精神面をケアするプライベート・ルームの供給に乗り出す。

ドームのサイズは縦3・6×横3・6×高さ2・25m。使用した合板（ロシア白樺耐水合板）は4×8の12枚と6・5枚を計22枚（0・5立方m）を（北洋材（北洋

材アカ松）は90mmの土台と45mmの根太、30mmの木枠を計31本（0・2立方m）。乳白色のロシア白樺耐水合板が醸し出す癒しの室内空間に、大人2人と子ども2人が川の字になって寝る。

プロジェクトの参画企業は次の通り。  
▽基本設計：テクノプロト製作（サカエ王芸（関東）、石野木工所（関西））  
▽ソーラーシステム：田口製作所（COMPシステム）  
▽東日本システム：マツチパネル・マイケイキング（タツチシヨッピング）  
▽リユース開発：KIETO  
▽カタログ製作：エイヴイシステム  
▽販売：グッドラック  
▽運送：センコー  
▽プロデュース：テツヤ・ジャパン

問い合わせ先：テツヤ・ジャパン「復興ドーム」プロジェクト事務局（電話078-647-7721）